

目次

……………

【1】 --- 教員コラム第 12 弾 第 4 回 「正常胎位の発見～賀川玄悦」

附属病院長・女性生涯医科学 / 北脇 城

……………

【2】 --- 図書館の自習室延長について

……………

【3】 --- 実験方法を動画で視聴！ JoVE トライアル中

……………

【4】 --- 「ASCO」 トライアル中

……………

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

【1】 --- 教員コラム第 12 弾 第 4 回 「正常胎位の発見～賀川玄悦」

附属病院長・女性生涯医科学 / 北脇 城

……………

数年前他大学の産婦人科教授から「わが国の産科史を外国に紹介するにあたって賀川玄悦ゆかりの画像資料が欲しい。歴史が古い本学は京都の医学史の資料が豊富だろうから探して欲しい」と依頼された。そうは言っても江戸時代の人物のことなので本学附属図書館にあるのだろうかど半信半疑で調べたところ、あった。『賀川玄悦の系譜とその周辺』（賀川明孝編著、個人出版、1995）であり、しっかりとした装丁で玄悦ゆかりの資料がグラビアにカラーで収められ、豊富な記述を伴っている。

賀川玄悦（かがわげんえつ）（1700～1777）は彦根藩士の三男として生まれた。母の実家で農業をしていたが、独学で針灸あんまを学び、壮年になってから京都に上り一貫町（現在の下松屋町通松原下る、玉樹寺の東隣の地）に居住するようになった。生活のために古銅鉄器の売買をするかたわらあんまをしていた。数年後、たまたま近所の産婦が難産で苦しんでいるところに遭遇した。記録から察するに、これは胎児が産道から片腕を出している遷延横位という状態で、このままでは娩出させることもできないし、かと言って子宮内に押し戻すこともできない、にっちもさっちもいかない状態であった。玄悦は徹夜で考えて古銅鉄器の秤の分銅を掛ける鉤を死亡している胎児に引っ掛けて娩出し、母体の生命を救うことに成功した。これが回生術というわが国最初の産科手術であった。

玄悦の最も偉大な功績は正常胎位の発見である。この時代までは洋の東西を問わず、児頭は上方に位置していて、分娩間際になってから回転して頭を下に向けると信じられていた。

医学者としても有名なレオナルド・ダ・ヴィンチ(1452～1519)の子宮内の胎児の図でも確かに頭が上になっている。玄悦は、集大成として1765年(66歳)に『産論』4巻を出版した。この中で玄悦は、「上臀下首」(じょうでんかしゅ)を説く一節で、たいてい妊娠5か月以後になると胎児の大きさはウリぐらいであり、必ず頭を下にする。その後は頭を恥骨結合の上端に当てている。そもそも臨月の胎児の大きさがどれくらいで子宮の広さがどれくらいかを考えれば、回転とか転身とかすれば子宮は破裂してしまうだろう、という趣旨の記述をしている。玄悦があんまの技術で妊婦の腹部を注意深く触診していたこと、古銅鉄器業を営んでいたことにより鉗子や鉤を発明したこと、そして医家に弟子入りせず独学で学んだこと、などが既成概念に捉われない発想を生み、この偉大な発見に繋がったと考えられている。骨盤位娩出術にその名を遺す英国人William Smellieは、彼の著書(1754年)の中で正常胎位を最初に記載したことで知られている。これは確かに『産論』出版の9年前であるが、玄悦は20年前から真の胎位を知っていたことと、Smellieの本が日本に入ってきたのが1770年頃と推定されることから、玄悦が独自に発見していたことは間違いない。本学の史料を系統的に整理されている藤田俊夫先生は、著作の中で玄悦のことを「実証的産科の始祖」と記述されている。

山脇東洋が1754年にわが国で最初に京都で刑死体を解剖したのは有名だが、実証派が一斉に芽吹いた時代であった。実際、山脇家と賀川家は親交があった。玄悦の養子、賀川玄廸(げんてき)は1774年に『産論翼二巻』を著し、以後幕末に西洋医学が入ってくるまでわが国の産科の手本となった。

最後に、本学をこよなく愛していると自負しているにもかかわらず附属図書館蔵書の実力をなめていた自分自身を恥じるとともに、昔から現在に至るまでずっと附属図書館を維持管理して来られた関係の皆様に敬意を込めて感謝いたします。

※過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 ---附属図書館の自習室延長について

.....

昨年9月1日から本館2階の第3閲覧室を23時まで開室延長しています。38席の自習機のほか、kpum-air、冷暖房も完備していますので、閉館時刻以降もぜひ自習室として御活用ください。

[利用手順]

①附属図書館の閉館時刻5分前までに、第3閲覧室に移動してください。

閉館1時間前と直前に案内の放送が流れます。

- ②23 時までは図書館・合同講義棟 1 階の東玄関扉にある電気錠を自分で開錠し、退室できます。
- ③退室時「閉館後の利用者ノート」に所属（医学科・看護学科など）・学年・名前及び退出時間を御記入ください。

[利用に当たっての注意]

- ①21 時以降の入室は出来ません。また、退室の後は再入室もできません。さらに、23 時に職員が東玄関扉の鍵を施錠すると、どこからも退室できなくなりますので御注意ください。
- ②他の閲覧室と同様、キャップ付きのペットボトル等は持込可能ですが、その他の飲み物、食べ物の持込みはできません。1 階のエントランスホール 2 で飲食は可能です。ただしゴミは必ずお持ち帰りください。
- ③資料は、原則 21 時までにカウンターで貸出手続を済ませてください。閉館時刻の時点で、貸出手続されていない本を第 3 閲覧室に持ち込む場合は、必ず退室時に返却用ブックトラックに返してください。
- ④貴重品等の持込みには御注意ください。また施設内では、学生としてコンプライアンスを遵守した行動をとるよう心掛けて下さい。

【3】 --- 実験方法を動画で視聴！JoVE トライアル中

.....

文章だけでは理解が難しい実験方法や技術を動画で分かりやすく表現するビデオジャーナル「Journal of Visualized Experiments」のトライアルを実施中です。

実験の再現性向上に、手技の早期習得に、コスト・時間の削減に、どうぞ御利用ください。

- ◆URL : <http://www.jove.com/>
- ◆JoVE 紹介ビデオ(日本語訳) : [こちら](#)

並行して、教員と学生の教材にも使える「Science Education on Collection」もトライアル中です。実験の基礎を学ぶための操作手順・器具の概要や考察・視覚補助資料のほか、実際の実験を収録した映像で学ぶことができます。コンテンツの日本語化も進んでいます。

- ◆URL : <http://www.jove.com/science-education-collection>

- ◆詳しくは : [製品紹介ページ](#)

◆トライアル期間：2018/10/2 まで

【4】 --- 「ASCO」 トライアル中

.....

American Society of Clinical Oncology(米国臨床腫瘍学会)のジャーナル 3 誌
をトライアルで提供しています。

「[Journal of Oncology Practice](#)」

「[JCO Clinical Cancer Informatics](#)」

「[JCO Precision Oncology](#)」

◆トライアル期間 2018/10/31(水)まで

[Book Review]

.....

辻邦生 『嵯峨野明月記』(新潮社, 1979)

はしがきも解説もなく登場人物は、一の声、二の声、三の声という闇の声のようなわけのわからない書き始めであったが、徐々に嵯峨本刊行に関わっていく光悦、宗達、素庵の 3 人だということがわかってくる。私が大好きな宗達が描かれていたのでより興味深かった。移ろいゆく現世への苦悩と高い芸術性を追い求める心の葛藤を 3 人夫々の立場で独白しながらも、この世の醜さや空しさや儂さの奥にある本当の美しさや愛おしさを表現している辻の世界観を十分楽しめ爽やかさの残る本であった。

(京都府立図書館「K-Libnet」で貸出が可能です) (K.M.)

KPUM Library Booklog : <http://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/B000J8EH52>

※「K-Libnet」は 4 月から始まった京都府内公共図書館・読書施設等との相互貸借サービスです。詳しくは[こちら](#)をどうぞ

.....

図書館メール News 第 369 号 2018.8.31 発行 (隔週金曜日発行)

編集・発行 : 京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>